

道内の特別支援学校の取組（知的障がい②）

「農福連携による就労を目指し、地域の関係機関が連携して取り組む作業学習」

北海道平取養護学校

教頭 森 下 こずえ

教諭 西 野 英 行

1 はじめに

本校は、平取町にある知的障がいのある児童生徒が学ぶ特別支援学校です。小学部12名、中学部19名、高等部42名の児童生徒が在籍し、そのうち約8割の児童生徒が学校に隣接する寄宿舎を利用して通学しています。

学校のある平取町は、町を貫流する沙流川の流れが育んだ豊かで雄大な自然のもと、農林業を基幹産業としています。特産品であるトマトは「ニシパの恋人」としてブランド化され、出荷量全道一を誇る産地となっています。しかし、近年、生産農家の高齢化や人手不足が深刻になっており、農業の担い手確保が重要な課題となっています。

2 「高等部コース制」と「農福連携の推進」による新たなチャレンジ

本校高等部は、卒業後の自立した生活を目指し、作業学習を取り入れた教育課程を編成していますが、近年は、高等部への入学者が増加したことにより、様々な生徒の教育的ニーズに対応することが求められるようになっていきます。そのため、令和2年度から「コース制」を導入し、生徒が自分の得意な学び方や進路希望等に応じて学ぶコースを選択できるようにするとともに、自信や生きがいを持って社会参加する力を育てるため、作業学習では、地域に貢献できる内容を設定してきました。

このような学校の取組に対して、町内の関係機関や団体に御理解を頂く中で、「農福連携」を推進している平取町が、学校とトマト農家をつないでくださり、令和2年度から「トマト農家での作業学習」が始まりました。

今年度については、週1回、年間を通して、ワークコースの農業班に所属する生徒4名が、トマト農家の方から指導を受けながら、根切り、芽かき、傷んだ葉の除去、除草、薫まき等の作業を行っています。

また、学校と農場間の往復については、平取町社会福祉協議会により送迎を行っていただいています。実習先の確保だけでなく、こうしたきめ細やかな支援のおかげで、作業の回数や時間を十分に確保することができています。



トマト農家での除草作業の様子

【ライフベシクコース】
自立活動や日常生活の指導を中心に学び、生活リズムを整え、身体をうまく動かす力を身に付けます。

■自立活動
週20単位時間

【ライフコース】
作業学習や生活単元学習、各教科等をバランスよく学び、生活する力を身に付けます。

■作業学習
週6単位時間
■美術
週2単位時間

【ワークコース】
作業学習を中心に、生活単元学習や各教科等を学び、働くために必要な力を身に付けます。

■作業学習
週9単位時間
うち週1回は
一日作業

—— 高等部コース制における各コースのねらい



平取町社会福祉協議会による送迎の様子

さらに、令和5年度からは、「農福連携」による農業分野での就労に向けてより実践的な力を育成するために、学校敷地内に農業用ハウスを設置し、作業学習でトマト栽培を始めました。

この取組においても、平取町の呼び掛けにより、本校後援会や平取町農業支援センター、日高農業改良普及センター、JAびらとり、町内のトマト農家など、様々な方々に携わっていただき、ハウス建設予定地の整備から土壌の改良、トマトの栽培技術、生産物の流通に至るまで、一貫して御指導や御支援を頂きました。

6月上旬に日高農業改良普及センターの御指導の下、農業班の生徒が苗の定植作業を行いました。

その後、関係機関の方々の見守りと、生徒による毎日の丁寧な作業によって、すくすくとトマトが成長し、夏の間大きな赤いトマトをたくさん収穫することができました。

8月には「ふれあいセンターびらとり」と協力し、生徒による地域向け販売会を実施することができました。



苗の定植作業の様子



地域向け販売会の様子

3 まとめ

令和2年度から続けているトマト農家での作業学習においては、農家の方に直接指導していただくことで、生徒がより実際の就労体験ができるとともに、生徒が自ら考え主体的に行動する様子が増えるなど、大きな成果が上がっています。

この取組は、生産農家の方が、本校の生徒と直接関わることで、本校の教育活動や障がいのある方への理解を深めていただく機会となっています。

今年度から実施している自校でのトマト栽培においては、トマトの成長に期待感を持って作業に取り組み、生徒の自己有用感へとつながっています。

また、収穫したトマトのおいしさを実感することで、農業の楽しさを知ることもできました。

今後も本校では、関係機関の方々の御指導を頂きながら、作業学習の工夫・改善を図り、生徒が働く喜びや農業の楽しさを感じられるような教育活動を進めて参ります。

さらに、平取町との連携を一層強化し、卒業後の町内での就労及び生活の場の確保に取り組み、「農福連携」による町づくりのために、学校が地域の一員としての役割を果たしていきたいと考えています。



作業学習受入れ先の生産農家の方と



北海道平取養護学校

住所 〒055-0107 沙流郡平取町本町 112-7
電話 01457-2-3178



本校のWebページ
を御覧ください。